


R-18



或る新月の夜、  
パチュリー・ノーレッジは  
述懐した。



Patchouli Knowledge recalled the night of new moon.

R-18



或る新月の夜、  
パチュリー・ノーレッジは  
述懐した。

※本編内容につきまして※

この東方project二次創作コミックに登場する

各種人物・設定に関しては、

作者の妄想に基づくイメージが盛り込まれております。

そのため、一般的な東方projectの設定と多少の食い違いが

生じることもありますので、

あしからずご了承くださいませ。

新月——  
一般的には「朔」と呼ばれる  
天体現象の一つ…

月と太陽が同じ方向に重なり、  
月から反射した太陽光が  
ほとんど届かないため、  
月が見えない状態となる……

この窓のない大図書館には  
月の明かりなど無縁だが…

パチュリー様  
お茶をお持ちしました

…パチュリー様？

七曜の魔術を行使するに  
あたっては、月の満ち欠けは  
非常に重要な要素となる…

…あ、ああ…  
ありがとう…

私はその時、  
述懐していた…

あの新月の  
夜のことを……

パチュリー様……

あなた……  
これは一体何の  
つもりなの!?

早くこの戒めを  
解きなさい……!





それも無理  
からぬ事…

そうですか…  
しかしこの窓のない  
地下の大図書館

私達をご説明  
さし上げましょう



パチュリー様…  
今日がどんな日か…  
ご存知ですか？

どどんなって…  
特に何も…



今夜は  
新月の夜

なっ…!?

月の力が極限まで  
弱まる夜…

ちよっと…  
やめっ…てっ…

パチュリー様の私達を  
使役する力にも翳りが  
表れる夜なのです

どん、



まさか…  
そんなことが…っ  
あなた達を制御する  
こともできないなんてっ…

気に病まれることなど  
ありません  
パチュリー様

これは  
仕方のない事  
なのですから

はっはっ

たっはっ



月が司るのは感受と女性—  
月光が失われる  
新月の夜とはつまり…

やめっ…

使い魔の受容能力が衰え、  
使役の力が無くなることを  
意味している…

サッ




そう—  
私は失念していたのだ

幻想郷にも訪れる  
新月の夜のことを

はっはっ


たっはっ






もう一つ、月が持つ  
「女性」を司る力が  
失われれば…

使い魔の持つ  
陰陽の属性が  
揺らぐのだ…



彼女たちの心や容姿は  
既に新月の夜に蝕まれ

私の身体を求めて  
群れる飢えた  
ケモノにすぎない…



使役の能力を  
失った私に  
できることといえば

太陽の昇る朝を  
ただ待ち続ける  
事だけだった…

小悪魔達は  
まず私の乳房に  
目をつけた…

ははは、

ははは、

はは、



はは、

ゴム球を弄ぶように  
双球を揉みしだかれ…

はは、

はは、

頃合いと見るや  
その先端に舌を伸ばし



ははは、



赤子が乳を貪るように  
両の乳首へと  
むしゃぶりつき

舌を巧みに  
動かしながら  
執拗に舐め上げてきた…



その快楽に  
私の乳首は  
贖えず

屹立した姿を  
曝け出してしまった…



ぬめった舌が  
乳首の肉の  
亀裂に割り込み



中の乳頭を  
丹念に掘り起こす…

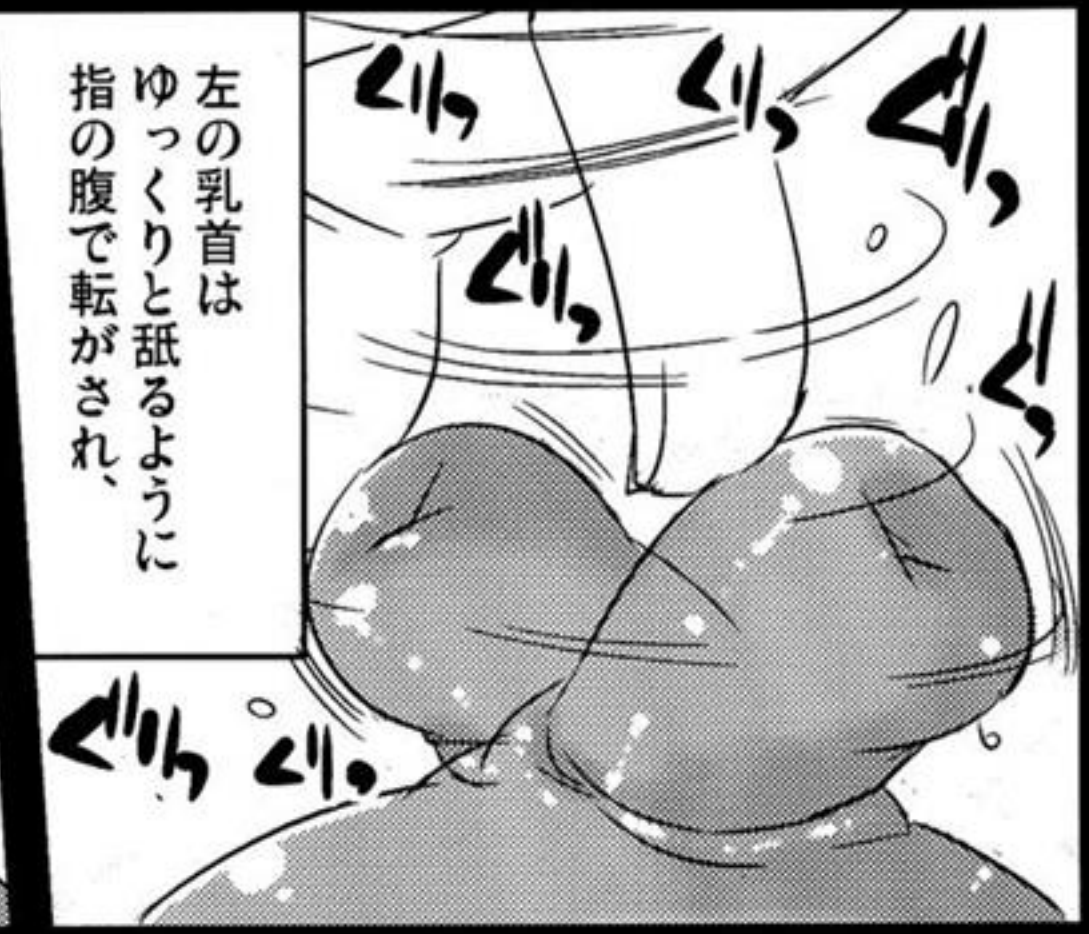


後ろから乳房を  
抱え込まれ  
揉みしだかれ  
ながら…

固く、熱く  
しこりきった  
乳首への執拗な  
責めが続いた…



右の乳首は  
痛いくらいに  
摘まれ、  
引き伸ばされた…



左の乳首は  
ゆっくりと舐るように  
指の腹で転がされ、



緩急をつけた  
乳房と乳首への  
刺激は小一時間も続き

私の脳は次第に  
甘い快楽に溶かされて  
いったのだ…



既に愛液に濡れそぼった  
秘部に舌を沿わせ、  
肉の亀裂をねぶり、  
内側のひだを舐め回してくる

四肢にこめる力すら  
弱くなった私を  
小悪魔達は抱え込み…



小悪魔達の舌は長く伸び、  
まるで触手のように  
ぬらぬらと蠢き  
膣内を暴れまわる…

私の秘部は自らの愛液と  
唾液にまみれ、いやらしく  
淫らな水音を立てた…

溶けていく…  
快樂の海の底に  
漂う泥土のように…

精神という  
最後の砦をも  
崩された私は

ついに自ら…  
その言葉を…



挿れてっ…  
私のおま〇こにっ…

もうだめえ…  
がまんできないっ  
欲しいのおっ…



もちろんです

パチユリー様…

嗚呼…  
私は…







挿入できる穴や  
隙間はすべて  
覆い尽くされる  
勢いで…



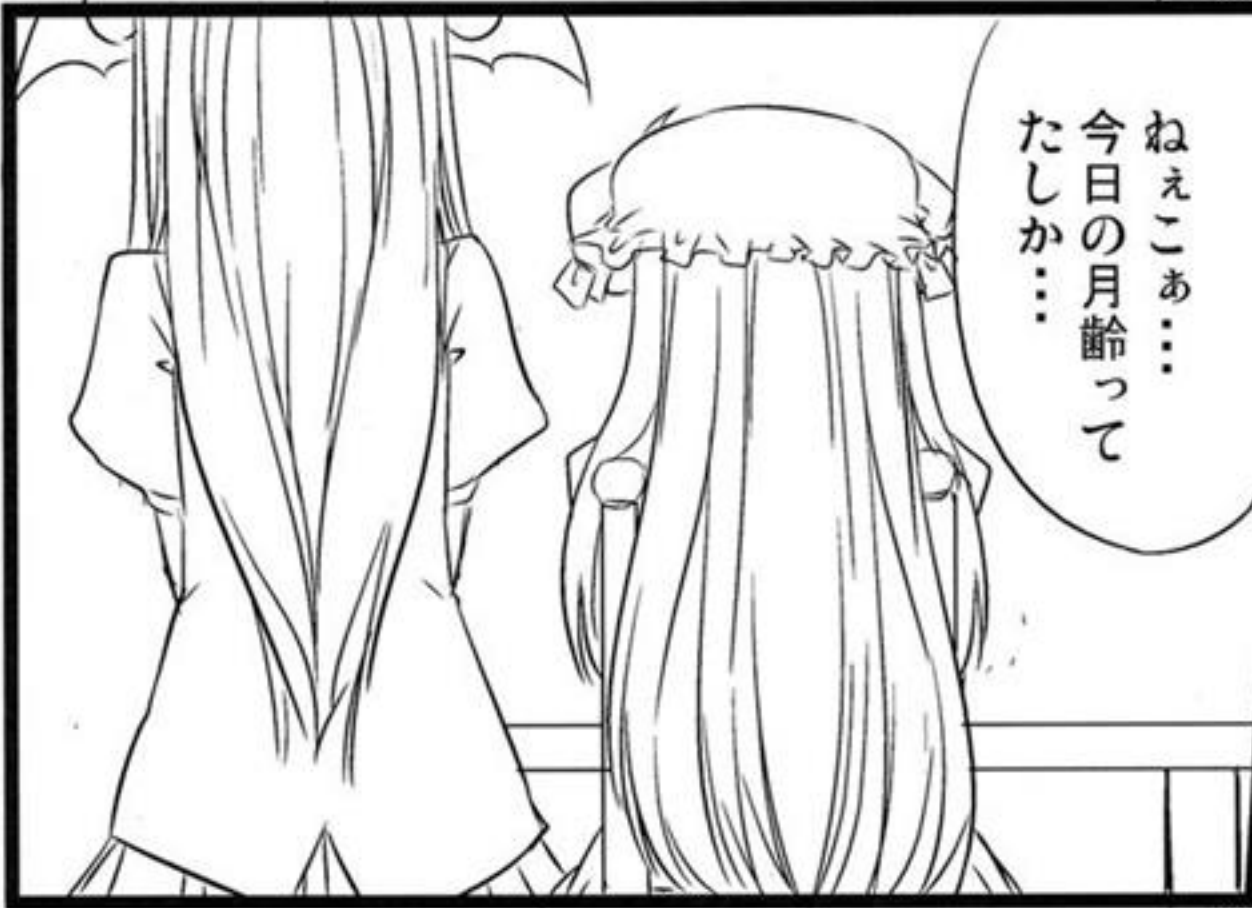
熱した鉄のように硬い肉棒は  
私の肉壁を隙間なくこすりあげ  
淫らな音を立てながら  
激しく上下運動を繰り返す…



私の体はペニスに  
蹂躞され尽くした…







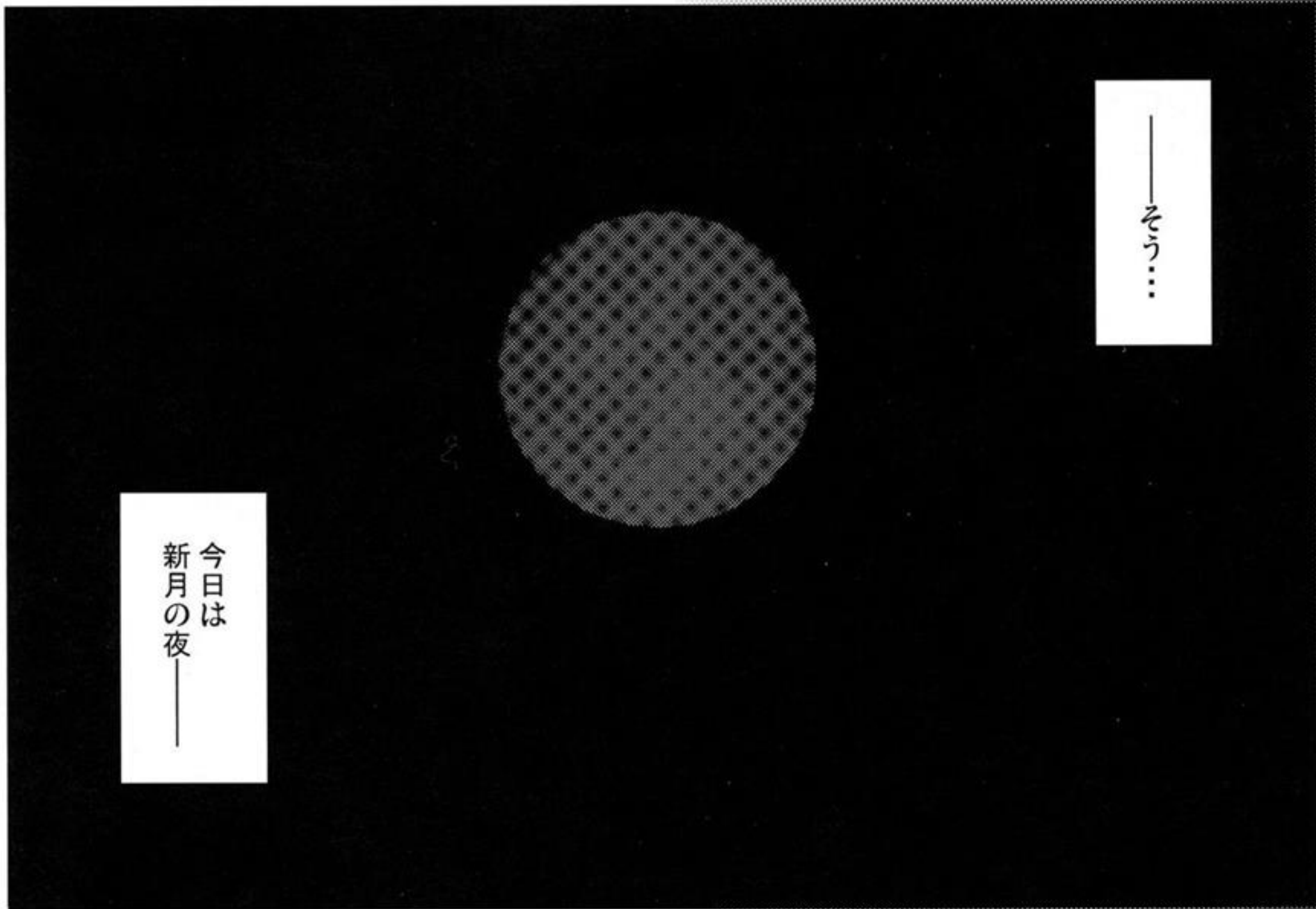
ねえこあ…  
今日の月齡って  
たしか…



これが…  
あの新月の夜に  
おきた全てのこと…



はい  
パチュリー様  
今宵の月は…



—  
そう…

今日は  
新月の夜  
—



ଆଜିକା

ଆଜିକା

ଆଜିକା

ଓ.ଏ.

ଓ.ଏ.

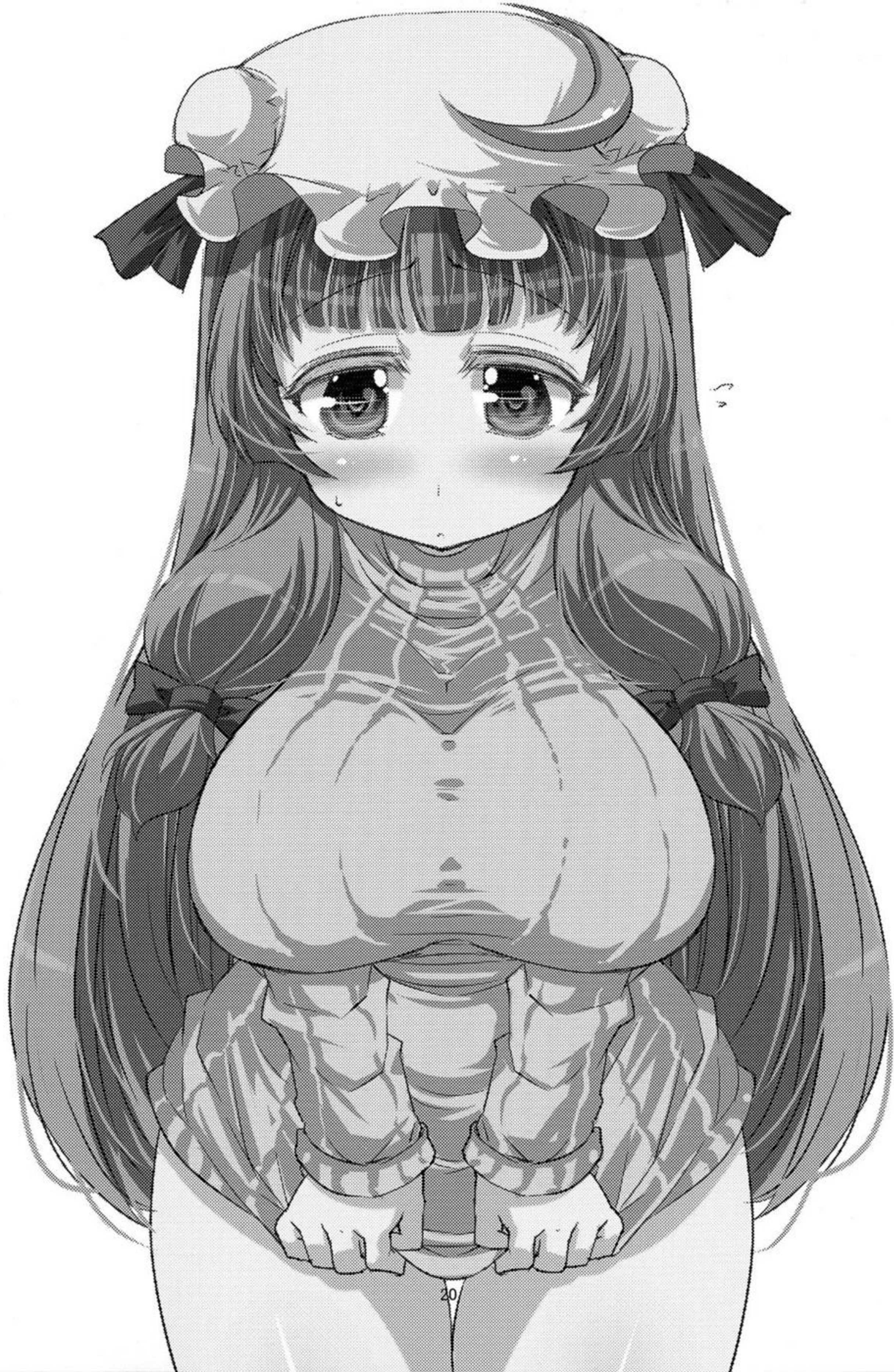
ଓ.ଏ.

ଓ.ଏ.

ଆଜିକା

ଆଜିକା

ଆଜିକା



こんにちは、フジヤマと申します。

これで東方の漫画は3冊目になりますかね…。  
相変わらず紅魔というかパチュリーが大好きで、  
そればかり描いてるといいますが、  
今回もパチュリー一本になってしまいました。  
ちょっと毛色の違う感じの本にしたいくて、  
若干厨二臭のするタイトルになりましたが  
ちょっとでも楽しんでいただければ幸いです。  
東方ジャンルでは今後も活動していく予定ですが、  
いろいろなことが許されるなら  
もっといろんなものを描いてみたいですね…。  
それではまた、どこかで。

フジヤマ

或る新月の夜、バチエリー・ノーレッジは述懐した。

**発行 フジヤマタカシ/TLE**

**発行日 2012年5月27日**

**印刷 株式会社BRO'S 様**

**※この本は18禁です。18歳未満の方の閲覧・所持を固く禁じます。**

**mail to [fujiyama3777@hotmail.co.jp](mailto:fujiyama3777@hotmail.co.jp)**

**WEB : <http://tle.blog.fc2.com/>**

**twitter ID @fujiyamax**